

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「公開用DB方式の統合DB製品」PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: **K000406-0005** ★APPLICで記載

- (1) 対象標準とバージョン
 ・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦月日): **2009年6月10日**

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): **新規**

(c) 申請者
 団体名: **日本オラクル株式会社** ★識別キー項目1
 団体のURL: **http://www.oracle.com/lang/jp** (識別キー項目3つで
 APPLIC会員番号: ユニークになるように
 申請者が指定する)

(d) 製品情報
 製品説明のURL: **http://www.oracle.com/lang/jp/database/index.html** ★識別キー項目2
 代表製品名: **Oracle Database**
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:
 製品識別情報(バージョン等): **10g(10g Release 2(10.2)など)/11g(11g Release 1(11.1)など)** ★識別キー項目3
 リリース日(予定)(西暦月日):
 対応OS: **Linux(Oracle Enterprise Linux,Red Hat Enterprise Linuxなど)/
 Windows(2003,2008,XP,Vistaなど)/Solaris/HP-UX/AIX/SUSEなど**
 製品の形態((1)型から(3)型): **(1)型**

(1)型 (2)型 (3)型

前提となるPF通信製品
 前提PF通信製品名: ※1
 前提PF通信製品名: ※1
全て同一提供者 **全て同一提供者** **Y社製品を**
 ※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック ※: 下記の様

番号	準拠ルール	統合DB製品 (サービスIF処理) (PF通信処理)	統合DB製品 (サービスIF処理) PF通信製品	Y社PF通信製品	サイト内	
					必須・ 選択	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす				必須	◎
1-1	HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002)				必須	◎
1-2	SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-IPアドレスシフトロファイル1.0)を行えること (CS-R020003, CS-R020004)				必須	◎
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)				必須	◎
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)				必須	◎
1-5	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの中の1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。(CS-R060002, CS-R060005, CS-R060009)				必須	◎

2	アーキテクチャ標準仕様4.5.4節「統合DB機能」における、公開用DB方式の機能要件を満たす	必須	◎	
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の業務ユニットインタフェース標準(V2.0)を実装していること (AS-R045403)	必須	◎	
2-2	利用I/Fとして、SQLによるインタフェースを提供していること (AS-R045404)	選択	◎	
2-3	提供側業務ユニットに対し、統合DBのDB更新機能(PUSH型データ提供機能)としてSOAPまたはSQLのインタフェースを提供していること (AS-R045405)	必須	◎	
2-4	統合DBと業務ユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF標準(UTF-8または16)を使用できること (AS-R045407)	選択	◎	
2-5	外字を扱えること (AS-R045408)	必須	◎	

備考欄(前提事項や制限事項)